135

本日の新聞論調（第六百四十號）　内閣情報部　一五・一〇・一一（金）

内容目次

一、部制復活の問題（朝日）
一、地方ブロック打破が急務（中外）
一、支部長不置・延置・延期は不可（都）
△特別儀式（朝日）
△極東米人の引揚勸告
一、米人引揚勸告（日日）
一、米國は極東より手を引け（國民）
一、痛痒感ぜず合作の發展性（都）
△新體制關係
一、中央聯盟の試案（讀賣）

×

×

×

△極東米人の引揚勸告

一、米人引揚げ勸告（日日）

米國國務省は八日極東に在る米人の引揚げ方を勸告し次でハル長官は右勸告は米人の安全（　）の爲になされたものであると説明し更に米國支那派遣軍の徹退をも示唆したと云ふ。もと

より極東在留米人の引揚げは毫も我等の關知せぬ處であるが、彼等が蔣政權の宣傳に終始し、米國の反日輿論の根源をなしてゐた事實よりみて、是等在支反日米人の引揚げは、東亞新秩序樹立の妨害的原因の除去になるとも言ひ得る。併し米國はこれを以て寧ろ日本に强硬ジエスチユアを示さんとするものであつて、其裏面にはビルマ・ルート再開と同様な企圖さへあるかも知れぬ事を日本としては考へて置かねばならぬ。其結果は或は極東の事態を收拾し得ない紛糾に導くおそれがなしとしない。勿論その責任の全部が米國の負ふべきものである事は當然である。同時我等が此種の威嚇的措置に毫も驚くものでないことを强調したい。

一、米國は極東より手を引け（國民）

防共聖戰より東亞新秩序へ、更に東亞共榮圏と我國策の進むとき、今更乍ら日支事變遂行中の極東に於ける米國の行動と對日壓迫とは改めて國民の念頭に新しく想起させられる。而も東亞共榮圏の確立には歐洲の新情勢が直接反映し佛印、蘭印の經濟平和とが問題の渦中に取上げられねばならぬ運命になつたからには其土地に多大の關心を持つ米國の行動に對して、日本國民の視聽が集中される事は當然である。米國が再び援蔣ルート再開に妄動し蘭印方面に於て我國の共榮圏を攪亂せんと策しつゝあるに於ては、→

徒らに我國民を驅つて排米思想を昂潮させ、將來永遠の禍根を植付ける以外の何ものでもない。我等はさきに英に對しスエズ以東より手を引けと勸告したと同じ觀點に立つて、米國は東亞全局面より一切の手を引いて南北アメリカの平和をのみ策するが賢明なる行動である事を進言するものである。

一、痛痒感ぜず、合作の發展性（都）

米國の在極東住民並に在支駐屯軍の引揚げは三國同盟成立後に於ける米國の極東政策最初の具象化として注目されるが皮肉にも米國内に大衝動を與へてゐると傳へられる。我方は之によつて何等痛痒感を感ずるものではない。只問題は極東に於ける英米合作の發展性とその行動性如何である。卽ち將來軍事的部面に迄擴張される可能性を重大視する。米國は既に英米共同步調により絶對に後退し得ない迄に極東問題に介入するに至つてゐる。米國は愚かにも英國のために火中の栗を拾ふ者である。

△新體制關係

一、中央聯盟の試案（讀賣）

今回發表された選擧肅正中央聯盟の衆議院選擧法改正意見要項を見るに、其最も特色の存するは總定員を三百名に減少し、うち百名を全國を一選擧區として首相指名による卅名の中央推薦會の銓衡にかゝる約倍數の候補者中より選出せしむる點であらう。其目指すこと

ろは政治經濟文化各界に亘り聲望閲歴人物手腕につき全國民間に既に定評ある優良人士を議會に送らんとするにあると思はれるが、斯る人物が果して最適なりや否やは確かに再吟味を要する問題であると思ふ。當面の政局が内外の緊急案件に掩はれて選擧法改正の如きは殆んど各方面の關心に上らず、内務當局の改正審議も遅々として進まざるが如き觀あるとき、中央聯盟がとも角一試案を指示したるの勞は一應多とすると共に、本問題に關し眞摯なる研究立案が速かに遂げられんことを要望して已まない。

一、郡制復活（朝日）

官廳事務編成の方針に則るものとして内務省事務當局の作つた内務省機構改革案は農林鐵道兩事務當局の作つた當該官廳改革案と同樣滿足し得ない。全般についての論議は他日の機會とし、その中の郡制復活の點につき當局の再考を促したい。郡制廢止に際してのいきさつは記憶に新たな所である。當時の事務當局が郡制廢止により地方行政を敏活にするものだとして交通不便の特別な地方に支廳を設置したことも世人の忘れない所である。十五年後の今日郡の復活を聞くは諒解に苦しむ。十數年間の交通發達は郡制廢止の理由を裏書きすることはあつてもその復活の理由とはならぬ。地方長官會議に於て興資體制の觀點から郡の復活を主張した知事もあつたが、今日の非常時局に持出すべき筋合のものではなく、首相の訓示の「官廳事務整理統合」の趣旨にも副はない。→

安井内相の「眞劍なる自己反省と剛烈な責任遂行とに徹すべし」との訓示をそのまゝ受入れて郡制復活問題を考慮すれば足りると思ふ。

一、地方ブロック打破が急務（中外）

國内の諸體制を高度に組織化する爲には中央の施策方針を遺漏なく地方に徹底せしめ、其間聊かの齟齬障碍もあらしめてはならない。殊に今日の經濟對策の如く緻密な計畫性と有機性を保持する必要がある時、中央と地方の疎隔、各地方間に横たはる政策の不統一は直に全國的施策の運營を梗塞せしめ甚大な惡影響を及ぼす事を深く省察しなければならぬ。然るに現實の地方經濟の實情を見るに、米、木炭等重要物資に關する所謂地方ブロックは未だ打破されてゐないのみか、更に物價對策の如き機微なる問題についても政策の地方的分岐と混亂が依然として熄まぬ事は甚だ遺憾に堪へない。畢竟地方ブロックの問題は地方政治における官僚的割據主義の露骨な表現で、同時にかゝる惡風潮を當然の自衛手段と曲解せしめた罪の一半は中央の施策が徹底と綜合性を缺いた所に歸せねばならぬと思ふ。今次の地方長官會議に於ても此問題は殆ど不問に附してゐるが、若し政府にしてかゝる基本的問題に對する正しい認識なく又その禍根を除去する氣魄に乏しいとするならば、果して能く地方政治の刷新乃至は高度國家體制の整備を期し得るかどうか疑問としなければなるまい。敢て政府當局並に各地方長官の猛省を促がす所以である。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一、支部長不置。議員の任期延長は不可。（都）

地方支部長は首相の裁定に依つて當分設置せず、常任委員制を採用することに決した。知事側の要望と總務側の反對の板挾みとなり一時便法をとれる事は感服しないが、地方にあつても實踐運動の過程に於て自づと指導力と實踐力の强力なる者が結局支部長となる可く知事の支部長か否かはさして重視すべきでないまた昨今政府並に政界の一部に議員の任期を一年延長すべしとの説が行はれてゐるが、甚だしき愚論である。吾等は議會重大なる故にこそ臨時議會を召集すべしと提起せり。任期延長の如きは何等可なる所以を知らない、國民を愚弄するに等しいものである。

△特別觀艦式（朝日）

長くも　天皇陛下には本日横濱港沖に於て紀元二千六百年特別觀艦式をみそなはせ給ふ。今や帝國が東亞共榮圏の確立に邁進し、以て世界平和に寄與せんとしつゝあるに際し、四圍の情勢はいよいよ帝國海軍の嚴たる存在の重大性を加ふるに至つたのである。この秋　聖上御親閲の觀艦式の盛儀を迎へたのはひとり帝國海軍の光榮たるに留まらず國民が斉つて荷ふ光榮であり海軍に對し一層信頼の念を切ならしめるものである。

△其他―（略）―「大觀艦式」（日日）「特別觀艦式御親臨」（讀賣）「特別觀艦式を親し奉りて」（國民）「聖上御親閲」（報知）「輝く觀艦式」（都）

外國宣傳情報第一號

内閣情報部　一〇、一一、[illegible]

―重慶日本語放送（十月八日）　（東京都市遞信局聽取）

（妨害電波激烈を極め明瞭度一〇％位）

一、・・・不明・・・近衞は米國が若し引續き東亞に於て日本に對し諒解と同情を持たず、軍事同盟を以て米國に對する敵對行爲となすならば戰爭以外行くべき道なしと云ひ松岡も、米國が參戰すれば太平洋に於ける日米戰は免れぬと云つた。米國は日本の挑戰に對しどうしたかと云へば海軍の大擴張陸軍の擴充之が日本に對し責任を以て發せた回答である。米國は決心と力量を有するため光榮の勝利を得るのは必然の成行である。日米戰は誠に避け難く成つた。米國は太平洋上に如何にすべきかは併し未だ決定して居ないが、日本が安南に於て南進の足を踏み入れ形勢は日本に有利かに見えて居り米國も　心決せざるが如く、南洋の何れに重きを置くかも惑つて居る様である、併し日本が恫喝を以て米國を威嚇した上に軍事同盟で獨伊は東亞に於ける日本の領導權を、日本は歐洲に於ける獨伊の領導權を承認して居るのは如何にも米國を無視した言葉である、米國はそこで大艦隊を作りシンガポールを强化し經濟封鎖をなし日本に對する制裁を發せんとして居るのである、軍事觀測家によれば米國がシンガポールを强化すれば太平洋に於て大海軍を倍になし得ると云ふ事である、日本が武力を米國に加へれば彼は速かに之に應酬す

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/